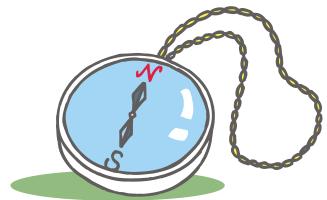


# 羅針盤



第 1 号

令和7年4月8日 (火)

## ◆ 『A・B・C・D』の法則

本日、令和7年度の1学期始業式を無事に迎えることができました。新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行されて、2年足らずの月日が過ぎ去り、学校での教育活動が制約されてしまうことも随分と緩和されて、この間、創意工夫を重ねることで改善を進めてきた教育活動もある程度の定着の目途とともに、これから令和の教育活動へと有効にシフトしていくべき時代がやってきたようです。学校では子どもたちの「学びの継続」を着実に進めることを最優先として、教職員が一丸となって教育活動に取り組んできたことに間違いはなく、これまでの困難な出来事を乗り越えてきた力が大きな原動力となって、より一層、日々努力することの大切さや、時間を無駄にしないこと、そして、支えてくれている周りの人たちへの感謝の気持ちを大切にして過ごしていくことの大切さが見直されてきたと感じています。これからも、日常的に、当たり前になすべきこと【A(あ)】を、決して馬鹿にすること【B(ば)】なく、ちゃんと実行すること【C(ち)】が、できる人【D(で)】であってほしいと願っています。ここでいう、「当たり前になすべきこと」とは、これまで年一度初めに、生徒の皆さんに話してきた、「挨拶ができる」、「人の話を素直に聞くことができる」、「ルールを守ることができる」といった3つの事から『あ・ひ・る』が実行できるように日ごろから心掛けほしいということです。簡単なことのようでありながら、日常生活ではできないような場面が見受けられるのも事実です。この3つのことは、学校生活だけではなく日常の家庭生活なども含めて長い期間を通して継続していくことで「高み」へと昇華していくものです。自らの習慣として自然と身に着くまで、日頃から意識しながら実行することが何よりも大事なことです。この3つの事からよりも大切なこともたくさんありますが、「挨拶をする」「話を聞く」「ルールを守る」といったような当たり前にできなければいけないことすらできないのであれば、人として大きく成長していくのはもっと難しいことだと思います。当たり前になすべきことを決して馬鹿にすることなくちゃんと実行することができる人であるという『A・B・C・D』の法則を心掛けながら、生徒の皆さんには、有意義で充実した学校生活を過ごしてほしいと心より願っています。

保護者の皆さん、今年度も引き続き、校長室だより「羅針盤」を通じて、私から子どもたちにメッセージを届けたいと考えています。定期的に本校のホームページに掲載して参りますので、保護者の皆さんにも、是非お子様とご一緒に読みいただければ幸いです。

(校長 坂井 伸治)

城陽中学校に着任し、3年目を迎えた校長の坂井伸治(さかいしんじ)です。

今年度も引き続き、城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、よろしくお願ひいたします。共に学び続ける子どもたちのため、道標となるようにという願いを込めた、校長室だより・羅針盤(らしんばん)を継続して発行していく予定です。また、学校ホームページでは、日々の教育活動の様子等を、公開していきますので、是非アクセスしていただき、ご覧ください。

